



さわやか

学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、7月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。今回は、集計結果の概要についてお知らせします。

※表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

【学校生活について】

	質問項目	R7前期	R6後期	比較
生徒	学校へ行くのは楽しいですか。	96%	95%	+1
	先生方は、自分の努力したことをほめたり、認めたりしてくれていますか。	96%	95%	+1
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	89%	88%	+1

本校の教育目標を「知性と創造力に富み 人間性豊かな たくましい生徒の育成」と掲げ、その重点目標として“魅力ある学校づくり”を取り組んでいます。また、私たちが目指す具体的な4つの姿を設定しています。『夢の実現に向けて挑戦する生徒がいる』』『人間性を磨き、学び続ける教師がいる』』『連携・協働して学校を応援する保護者がいる』』『地域に支えられている』』このような学校をイメージしています。

生徒は、一日において多くの時間を過ごすのが学校であり、その過程の中で様々な経験を経て、少しづつ大人へと成長していきます。何かを成し遂げたり、仲間と協力して創り上げたり、自分の努力の成果が実ったりすることなどの体験から得られる達成感や成就感、自己効力感など肯定的な感覚を味わうことを想定しています。しかしながら、自分の思うようにいかなかつたり、困難な課題と向き合うこと、自分の中に無力感のようなものを感じることも少なからずあると思います。だからこそ、日々の何気ない学校生活の中で、楽しさを味わうことができる環境づくりが重要だと考えます。ここで考える“楽しさ”は決して一次的なものではなく、やり遂げることや、努力すること、仲間を気づかい、意思疎通ができた先に訪れる“楽しさ”を指します。



これからも、一人一人の自己実現を支援できる宇ノ気中学校を目指して、実践を重ねていきたいと思います。

【学習について】

	質問項目	R7前期	R6後期	比較
生徒	授業は分かりやすいですか	97%	95%	+2
	課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか	92%	97%	-5
	自分で計画を立てて勉強していますか	76%	75%	+1
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	92%	91%	+1
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	84%	83%	+1
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	66%	69%	-3
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	62%	65%	-3

学校生活の中心は、紛れもなく授業です。私たち教員は、それぞれが担当する授業の中で教科指導を通して、知識・技能の定着はもちろんのこと、思考力・判断力・表現力や、課題に対して身につけた力で自ら解決しようとする主体性の育成を図っています。その過程の中で、様々な活動に取り組む生徒に寄り添い、共に考え、試行錯誤しながら指導改善に努めています。

数値においては、比較的高い水準で推移していますが、主体性に関しては、改善の余地があると推察されます。活動の目的や意義を理解することや、その見通しを持つこと、学習を進めていくことで得られる自分の変容を確認することを大切にしながら、自ら進んで学ぼうとする態度を育していくことができればと考えています。

4月に実施した1・2年生の市学力調査及び、3年生の県・全国学力調査では、各教科について考察を行い、具体的な改善のポイントを示し、授業に生かしているところです。今後も生徒が学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができるよう「わかる授業」を目指していきます。



【将来について】

	質問項目	R7前期	R6後期	比較
生徒	将来の夢や目標を持っていますか。	82%	81%	+1
	自分には、よいところがあると思いますか。	90%	89%	+1
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	73%	65%	+8
	学校は、相談や問い合わせに適切に応じてくれますか。	83%	84%	-1

不確実で複雑、不透明で曖昧な社会に飛び込むことになる子どもたちには、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる力が求められます。そのような変化の激しい現代社会においても、自分の夢の実現や目標達成できる力、言い換えれば“自分の力で幸せになれる力”を身につけていることは、大きなアドバンテージがあると言えるのではないでしょうか。

学校教育活動の中で、未来の自分の姿、なりたい自分の姿について考える機会を大切にし、それを実現するには何が必要なのかを一人一人が当事者意識をもって考えを深めていく支援をしていきたいと思います。ご家庭で、ぜひとも“未来の話”を話題にしていただけると嬉しいです。



【生活について】

	質問項目	R7前期	R6後期	比較
生徒	黙働清掃ができますか	83%	93%	-10
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	96%	98%	-2
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	100%	100%	±0
	交通マナーを守って登校できますか	100%	100%	±0
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	88%	86%	+2
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	93%	91%	+2
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	73%	74%	-1
	本校生徒の交通マナーはよいですか	76%	75%	+1

宇ノ気中学校の、大多数の生徒が概ねルールを守ることができていることが数値から読み取ることができます。ただ、清掃活動については、生徒の皆さんの意識を向上させる働きかけが必要だと考えます。

学校生活の中では、周囲の大人や友達から指摘を受けて、行動する場面もあります。しかし、本校の大きなねらいは、自分で考え、自分の言動を選択し、実践できる力を身につけてほしいと考えています。そして、自分で判断するためには、判断する経験が必要不可欠であり、そこから得られる成功や失敗が、その後の判断の質を高めていくことになります。そのような機会を積極的に与え、そこから成長していく過程において学校は認め、励まし、必要に応じてアドバイスするなど“伴走者”としての役割を担います。



ぜひ、ご家庭においても、お子様の考え方や思いを聴く機会があればと思います。その上で、保護者の方が感じたことや考えたことを伝えることで、お子様の考えがよりよいものになっていくことが期待できます。これからも、一緒にお子様の成長を見守ることができればと思います。

保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。